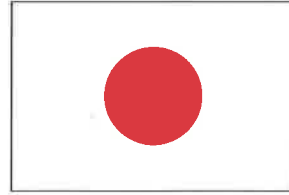
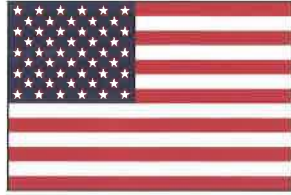


# 久喜市・ローズバーグ協会だより

発行 久喜市・ローズバーグ協会  
発行日 2019年5月1日



6月14日 アストリア橋をバックに記念撮影



久喜市そしてローズバーグ市の皆さん、こんにちは。

私は2018年（平成30年）5月の総会で、永年本会の発展にご尽力いただいた新井英之氏の後任として、久喜市・ローズバーグ協会の会長に就任した平澤香です。宜しくお願いいたします。

本会は1993年（平成5年）7月に設立された「しょうぶ・ローズバーグ協会」以来、両市民の「理解と友情」を深めることを目的に、4半世紀に渡って活動を続け、着実にその成果をあげてまいりました。これもひとえに、この国際交流の推進にご尽力いただいた先人の方々や、会員をはじめ関係の皆様のご支援ご協力の賜物と、

深く感謝申し上げます。

「愚公移山」のように、たゆまず努力し続ければ、どんな事業でも必ず成功するといえます。本会も、ローズバーグ市との国際交流という旗を高く掲げ、今後ともその発展に努めてまいりたいと思いますので、有志の皆様にはこの趣旨にご賛同いただき、活動にご参加くださいます様お願い申し上げます。

久喜市・ローズバーグ協会会長 平澤 香

2018年

# 国際親善交流（派遣）

## さらに深まった「友情と理解」

団長 平澤 香

1994年（平成6年）から始まった一般市民による交流は、4半世紀を迎えました。訪問団がシティホールを訪問した6月8日は、1987年（昭和62年）にローズバーグから13名の中学生が初来日した日と奇しくも同じでした。その日の夕方、ローズバーグカントリークラブでの歓迎会で、来賓の高岡敬ポートランド総領事から、両市のような草の根の交流が国際理解・国際平和にとって、とても大切であると高い評価をいただきました。

さらに滞在中、ホストファミリーと10周年を記念してUCC構内に植えられた桜の木を見に行きました。まるで交流の深まりを表しているかのように大きく成長している姿を見て、感激しました。マクレガー会長、ジャネット副会長をはじめとした心のこもったおもてなしは、相互理解と友好を目指して、大きく膨らみ続ける交流の糧になるものと、確信を深めた訪問となりました。



UCC構内の桜の木



歓迎会（来賓の皆様）

## ローズバーグ市 警察署・消防署・市役所訪問

武田 恵美子



市議会の議場で

警察署では警察犬・麻葉犬の訓練の様子を見学。犯人に噛みつく様は迫力がありました。消防署では仮眠室などの見学・消防車両の試乗・消火服の試着などをしました。両署ともに、緊急事態に備えての真剣な訓練・心構えを頼もしく思いました。

市役所の入り口には久喜市との姉妹都市の記念のポールが立ち、玄関には久喜市・交流協会からの贈呈品が飾られていました。市長さんより議会運営や議員の構成などのお話を伺いました。姉妹都市の交流を大切にしてくださいることを感じました。

警察署では警察犬・麻葉犬の訓練の様子を見学。犯人に噛みつく様は迫力がありました。消防署では仮眠室などの見学・消防車両の試乗・消火服の試着などをしました。両署ともに、緊急事態に備えての真剣な訓練・心構えを頼もしく思いました。

## ロックペイント 山田 勉

アンブクア美術館の工作室に大小さまざまな石と絵具・筆が準備されていました。有難いことに、多種多様な図案の型紙も沢山用意されていました。簡単そうと選んだ図柄もいざ描き始めてみると難しく、選んだ図柄とは別物のペイントとなってしまい苦笑した次第です。他の方々と同様に久しぶりに童心に帰って楽しい一時を過ごすことができました。



ロックペイント作成中



参考作品

## 友好訪問団！ 昔も今も！

島崎 和子

皆様、目を閉じて想像してみてください。丘の上のアンブクアコミュニティカレッジ駐車場を！ 懐かしい顔、顔、顔。久しぶりの帰郷の子どもや親を出迎えるような雰囲気、ホストファミリーの方々が私たちを迎えてくださいました。私は10年ぶりのローズバーグ。懐かしい人たちの顔を拝見し涙がこみ上げてきました。ローズバーグにいらした経験のある方は、この瞬間・この感激を忘れられないと思います。普通の旅行では得られない体験です。

ここから各家庭でのホームステイの開始！ 初めての人は胸がドキドキかも。ホストファミリーと過ごす5日間。家の周辺の散歩、協力し合って共につくるクッキング、釣り、サファリ、小旅行等、感動の日々です。

後半3日間はバス旅行。今回は西海岸3泊ツアーです。私自身3回目の西海岸ですが、すべて新しい場所でグブツた所はありません。協会の旅行担当者の方々の綿密な下見や計画のおかげなのです。心のこもった計画に脱帽です。

10年ぶりの訪問は、変わらぬ親切とやさしさ、友情の再確認の旅でした。まだ、参加されたことの無い方々、ぜひ参加し、体験してください。夢中になります。人生観が変わります。友情が生まれます。友好親善に繋がります。



永年の協力に  
感謝のことばをいただきました





## バス旅行記

坪井 文夫

私にとって初めてのアメリカの旅。緊張の極致でスタートした旅でしたが、ローズバーグの皆さんの温かい心遣いで長い時間を待たず心持ちのよい旅に変化していきました。

ハッチンソン家での心穏やかなホームステイの後、2泊3日のバス旅行。ノースオレゴンコーストを辿りながらオレゴンの歴史、産業、生活に触れる旅で、アメリカのスケールの大きさを感じる旅でした。

ネイティブアメリカンやオレゴン入植当時の人々の開拓の様子、サケ漁やカキの養殖など、自然と闘いながら逞しく生きた人々の姿が想像できました。

また、アストリアのコロンビア川海事博物館には、東日本大震災時の津波で流され漂着した漁船が展示されているのを見学し、太平洋を挟みオレゴンと日本が繋がっているのだと再認識もしました。

このバス旅行では、見るもの聞くもの全て新鮮で充実した時間を持つことが出来ました。ミアーズ岬灯台と「たこの木」、砂粒が小さく歩き易い広大なロッカウェイビーチ、西部開拓時代を髣髴とさせるガリバルディ列車やアストリアの路面電車の乗車体験、ティラムックにあるチーズ工場やオイスター会社、アストリア市内のガラス細工体験等々、挙げればざりがありません。その中で、印象的であったのがコロンビア川の河口域の広大さと川を挟んでオレゴン州とワシントン州を国道でつなぐ「アストリア=メグラ橋」の壮大な姿でした。1966年に建てられた約6.6kmの橋です。初めて見るのだが、この鉄骨で組まれた姿、どこかで見たような感じでした。(東京湾に架かる東京ゲートブリッジ或は映画で見たのかも知れません。)すべてが私にとって貴重な体験となりました。

この2泊3日のバス旅行は、ローズバーグの皆さんが私たちのために早い時期から計画し、下見もして見学地やホテルを選定くださったと聞いています。20年以上の交流の積み重ねと、細やかで温かい心遣いを感じた旅でした。



ガリバルディ列車の前で



ガラス吹きを体験



アストリア橋

## ローズバーグを訪問して

### ●夜景を見ながら

宮腰 日出子

DavidさんとAnneさんが昔ながらの知り合いのように私たちを歓迎してくれました。ゴージャスなご自宅を『自由に使って、あなたはゲストではなく友人よ』とおっしゃってくれた言葉が印象的でした。3日目、4日目になりローズバーグの街の夜景をながめ、北斗七星を仰ぎながら露天風呂に入って、Anne、さなえ、私の3人のおしゃべり(私はEnglishを歌のように聞いていた)サイコーでした。



ホストと友に(歓迎会)

### ●身振り手振りで

小山 泰則

とても参加して良かったです。ホストファミリーの『ジョン&メアリー』ご夫妻をはじめ現地スタッフの『ローズバーグ姉妹都市委員会』の皆様に変な感謝いたします。少し心配していた英語も身振り手振りでなんとか克服し、アメリカ本土の風景を満喫できました。夕食後、ジョンさんとローハイドの歌を歌ったのも楽しい思い出です。次回も出来たら参加したいと思います。ありがとうございました。



ホストと共に(クレーターレーク)

## 2018年 中学生国際親善交流(受入) 7月13日(金)~7月24日(火)

### 海を越えた友情…再び

久喜市立鷲宮中学校 校長 榎島良治

ローズバークの友だち17名が、1泊12日の日程で、引率者3名とともに7月13日に来市されました。訪問団の皆様泊まり先は、本事業の目的・意義に賛同し快く受け入れてくださった18の家庭です。ホームステイ9泊10日という短いものでしたが、記録的な猛暑の中それぞれの家庭にて交流を深めました。そして、24日にホストファミリーと惜別の別れをし、久喜をあとにしました。



伝統の神楽を体験

ホストスチューデントには、この経験を生かし、久喜市や地域の発展のために活躍するばかりでなく、国際社会に生きる日本人として活躍するグローバル人材に育ってくれることを期待しております。

このような素敵な機会を与えてくださいました梅田市長様をはじめ、市議会、教育委員会、市民部自治振興課、市内小中学校、そしてローズバーク協会の皆様方に心より感謝申し上げます。

### 海を越えた絆

久喜市立久喜中学校 矢島実莉

今回、初めての受け入れをしました。昨年ホームステイさせてもらった中学生を受け入れました。昨年はあまり話すことができず、少ししか仲良くなれなかったのが、正直今回もあまり仲良くなれないまま終わってしまうのではないかと不安でした。また、日本の文化を理解したり、私の言った英語を理解したりしてもらえるかも不安でした。けれど、毎日少しずつ話しているうちに、英語が1回で通じるようになりました。通じた時は達成感でいっぱいでした。浴衣を着て花火をしたり神社に行ってお参りしたりしました。日本の文化を分かってもらえるか不安でしたが、楽しそうにしていたので安心しました。お別れの前日にはメールを交換し、やりとりを楽しみました。お別れの日、最後まで思い出をつくり、ハグをしてからお別れをしました。明日からいらないなんて考えられませんでした。



楽しくおしゃべり(矢島さん)

今回受け入れてみて学んだ海を越えての絆を大切に、この経験を無駄にせず、将来に生かしていきたいと思います。私にとってかけがえのない12日間になりました。

### 貴重な経験

久喜市立栗橋東中学校 川崎祐佳

私は今回の交流で、全て英語で過ごすことができるのか、日本を楽しんでもらえるのかとても不安でした。ですが、簡単な単語をつなげた英語でも、話し方を変えたり、ジェスチャーを使うことで、言いたい事が伝わり、会話をすることができました。『完璧な英語』でなくても『伝えたい』という思いが込められていけばちゃんと伝わるんだなと感じました。また、受け入れたポーリンとは、和菓子やそうめんを食べたり、久喜のお祭りに浴衣を着て行ったり、色々な思い出を作りました。私の中の一番の思い出は、二人でピアノを弾きながら歌ったことです。



浴衣姿で(川崎さん)

私は今回の交流でポーリンともっと仲良くなれて、友達もたくさんできました。この経験を生かして、更に英語を勉強していこうと思います。

## 会 員 募 集



あなたも国際交流を体験してみませんか。  
異文化の国の方と気兼ねなく友だちになれる良い機会です。

### 2019年 友好親善訪問団(受入)

訪問日時

2019年10月18日(金)~10月26日(土)

連絡先

久喜市・ローズバーク協会事務局 新井良江  
電話・FAX 0480-85-1859

編集責任者 / 山田銀子 今村暢子